令和　年　月　日

令和　年度　スマート農業技術の設備等導入支援事業　事前審査用申込書

令和　年度スマート農業技術の設備等導入支援事業について、私（　氏　名　）は、次の補助に対する事前審査を申し込みます。

１　申込む補助の種類（チェックをお願いします）

　□　高度環境制御による栽培施設システムの導入補助（　　　　　　　　　　　　）

□　環境測定装置（　　　　　　　　　　　　）

　　　測定項目（日射量・温度・CO₂・湿度・土壌環境（水分量、EC等）・その他（　　　　　））

　□　環境制御機器（　　　　　　　　　　　　）

　　・すでに導入している環境測定装置（　　　　　　　　　　　　）

※細霧冷房装置の場合は記入の必要なし

　　　測定項目（日射量・温度・CO₂・湿度・土壌環境（水分量、EC等）・その他（　　　　　））

☑　その他（　自走式運搬機　　　）

２　添付書類

　　☑　事業計画書

　　☑　別紙

　　☑　参考見積書の写

　　☑　カタログ等の写し

　　☑　実施場所が分かる位置図

　３　過去の補助事業の実施

　　　これまでに、農業振興に関する補助事業を受けたことが、☑ある　　□ない。

　　これまでに受けた補助事業の内容

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 補助者 | 時期 | 内容 | 補助額 | その他 |
| １ | 国・県・市・その他 | H23.9 | トラクター | ○○○，○○○円 |  |
| ２ | 国・県・市・その他 | H30.9 | 環境測定装置 | ○○○，○○○円 | 添付資料参照（○号棟に設置） |
| ３ | 国・県・市・その他 |  |  |  |  |

※スマート農業技術の設備等導入支援事業に限らず、ご記入ください。

※過去に今回の申込みと同様の設備等を導入している場合は、その仕様及び導入地の位置図を添付してください。

※表が足りない場合は、別に記載してください。

令和　年度　スマート農業技術の設備等導入支援事業　事前審査用申込

事業計画書（自走式運搬機の例）

|  |  |
| --- | --- |
| 補助事業の種類 | 自走式運搬機の導入補助 |
| 事業の実施場所及び面積 | 横浜市○○区○○町8910　4800㎡ |
| 計画事業量 | ・○○○（商品名）  ・農薬散布用ノズル・タンク（オプション） |
| 計画事業費 | ○○○、○○○円 |
| 事業導入する営農内容 | 果樹（○○）の栽培  ※別紙に詳細を記載 |
| 事業導入により得られる（予想）効果 | ○○の栽培において、圃場を拡大したため、梅雨時期の農薬散布や収穫作業について、短期間で実施するのが困難な時期がある。自動運搬機に農薬散布用ノズル・タンクを搭載することで、病害虫防除・収穫作業時間の短縮が見込まれる。 |
| 補助事業の着手及び  完了の予定期日 | 着手予定　令和　年11月○日  完了予定　令和　年２月○日 |
| 摘要 |  |

（別紙）

１　事業導入する営農内容

（１）年間スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | ４ | | ５ | | ６ | | ７ | | ８ | | ９ | | 10 | | 11 | | 12 | | １ | | ２ | | ３ | |
| ○○栽培 | ・防除作業 |  | |  | |  | |  | | ・収穫作業 | |  | |  | |  | |  | |  | |  | |

（２）導入予定の設備等の特長

　　①最大積載量

　　　200kg

　　②移動方法

　　　GPS登録による自動走行、障害物センサーによる停止機能あり

（３）導入予定の設備等を選定した理由

　　　運搬だけでなくオプション設定の農薬散布用のノズル・タンクがあるため、病害虫防除及び収穫２つの作業の省力化が期待できるため。

（４）事業導入により解決が期待される課題

　　　圃場を拡大したため、梅雨時期の農薬散布や収穫作業について、短期間で実施するのが困難な時期がある。本事業で導入する自動運搬機に農薬散布用ノズル・タンクを搭載することで、病害虫防除・収穫作業時間の短縮が見込まれる。

（５）事業導入後に行う記録の方法

　　①温度、湿度等の環境に関する記録

　　②生育等に関する記録

　　　例)生産履歴記帳、出荷伝票（収量）による記録。

　　③作業効率等に関する記録

　　　例)作業日誌（播種日・定植日・肥料・収穫開始・収穫終了・片づけ・消毒）

　　④その他の関連事項に関する記録